

地域医療支援病院名称承認に係る審査表

2 昭和大学江東豊洲病院

病院の概要	
所在地	江東区豊洲五丁目1番38号
開設年月日	平成26年3月24日
診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児内科、新生児内科、外科、整形外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、乳腺外科、形成外科、産科、婦人科、眼科、精神科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科、歯科口腔外科
重点医療	救急医療、内視鏡医療、心臓循環器医療
指定等	東京都災害拠点病院、東京都指定二次救急医療機関、東京都周産期連携病院（産科・小児科）、東京都脳卒中急性期医療機関、基幹型臨床研修病院、臨床修練指定病院、臨床教授指定病院
病床数	303床（一般303床）

審査項目		申請病院の実績
①	紹介患者に対して医療を提供することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 紹介率 80%以上 イ 紹介率 65%以上、かつ逆紹介率 40%以上 ウ 紹介率 50%以上、かつ逆紹介率 70%以上	○ 平成28年度の紹介率 87.8% (A/B) ○ 平成28年度の逆紹介率 47.2% (C/B) 紹介患者数 14,747人(A) 初診患者数 16,792人(B) 逆紹介患者数 7,934人(C)
②	病院の建物、設備、器械等を地域の医療従事者の診療、研究等に共同利用できる体制を整えていること。	○ 共同利用の範囲 ⇒ 病床、検査機器等 ○ 共同利用件数 ⇒ 高額医療機器利用 453件（平成28年度） ○ 共同利用に関する規程 ⇒ 昭和大学江東豊洲病院共同利用規程
③	常時、重症の救急患者に対し医療を提供できる体制を確保することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 救急自動車搬送患者数が1,000以上 イ 救急自動車搬送患者数が救急医療圏（二次医療圏）人口の0.2%以上	○ 医療従事者の体制（夜間・休日） 医師11名、看護師18名、薬剤師1名、放射線技師2名、検査技師1名 ○ 診療施設 処置室（救急外来）、初療室（救急外来）、診察室（救急外来）、救急病棟、血管造影室、MRI室、CT室、超音波検査室、検体検査室、内視鏡室、血液浄化室、輸血検査室、ICU、手術室 ○ 平成28年度 救急自動車により搬送された患者の数 4,210人

審 査 項 目		申 請 病 院 の 実 績
④	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することとし、年間12回以上の研修を主催していること。	平成28年度の研修会実績 ○ 講演会、勉強会、情報交換会等 34回 ○ 地域医療機関からの参加者 1,452名
⑤	200床以上の病床を有すること。	病床数303床
⑥	集中治療室、化学・細菌・病理検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、医薬品情報管理室、緊急用又は患者輸送用自動車を有すること。	集中治療室(12室、12床)、化学検査室1室、細菌検査室1室、病理検査室3室、病理解剖室1室、研究室1室、講義室1室、図書室1室、医薬品情報管理室1室、患者輸送用自動車1台を有している。
⑦	紹介しようとする医師・歯科医師に診療及び病院の管理運営に関する諸記録を閲覧させる体制を整えていること。	管理課において、閲覧できる体制をとっている。
⑧	学識経験者からなる運営委員会を設置し、地域における医療の確保のために必要な支援に係る事項を審議すること。	運営協議会を設置している。 (委員構成) 地元地区医師会代表 3名 地元歯科医師会代表 2名 地元薬剤師会代表 2名 地元行政機関代表 2名 学識経験者 2名 内部委員 3名 計 14名
⑨	患者からの相談に適切に応じられる体制を確保すること。	相談室、患者サポートセンターを設置し、常勤相談員を18名配置して相談業務を行っている。

地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

昭和大学江東豊洲病院
院長 笠間 毅

当院の基本理念は①まごころの医療、②安全・安心の医療、③地域と連携する医療、④医療人の育成です。病院の理念を実現させるために「女性と子どもにやさしい病院」「安全・安心の最優先」「周辺医療機関等と協力し、地域の発展に貢献」「医療従事者のスキルを向上させ、キャリアアップの実践」等の具体的な基本方針を掲げています。また、土曜・日曜・祝日も平日と同様に外来診療・検査・定期手術も実施する体制をとり地域から信頼される病院を目指しています。

平成 27 年 9 月には東京都指定二次救急医療機関、平成 27 年 12 月には東京都周産期連携病院の指定を受けるなど、地域医療機関としての役割を果たすよう努力して参りました。その結果、平成 28 年度には紹介率 87.8%、逆紹介率 47.2%、救急車応需率 84.7%、病床稼働率は 93.8%と高い推移を維持しております。また、救急搬送の受け入れが困難だった事例については、その状況と理由を会議の場で検証を行っており、二次救急医療も急性期医療を担う地域中核病院として積極的に取り組んでおります。

当院は、急性期病院として「かかりつけ医院」との役割分担を明確にしております。入院や手術など専門的な医療を必要とする紹介患者さんを積極的に受け入れ、質の高い医療を提供できるよう努めています。また、患者さんの住まいに「かかりつけ医」をお持ちいただくよう、「ふたり主治医制」を推進しており、治療や症状が安定した場合には、近隣の「かかりつけ医院」に紹介をさせていただき、病診連携をとりながら治療にあたっております。

患者さんに最適な質の高い医療を提供するため、昭和大学江東豊洲病院と地域の医療機関とが相互に緊密な連携を図ることを目的に「地域連携医療協力機関制度」を設けております。登録いただいた医療機関には「地域連携医療協力機関登録証」を発行しており、紹介患者さんは診断確定後、退院時に原則として逆紹介させていただいております。

このたび、「地域医療支援病院」の承認を受けましたら、引き続き地域の医療機関と協力して、より一層地域の皆様へ質の高い医療を提供できるよう努めていきたいと考えております。